



花は散る！されど我らが想いは熱く



秋
14年
7月(10)
肉店
菜園
下へ

桜前線はあっという間に通りすぎて行ったが、花はなくてもこの盛会



大活躍の野田数さん（左）

野田さんの報告は9面に掲載されています。

写真提供：風間和夫さん

久保実行委員長の英断で開催された今回のお花見会。予想以上の盛会でした。

木谷幹事長も久し振りに元気な顔を見せてくれました。

新入会員の紅松御夫妻、立ち寄ってくれた當摩光子さんありがとうございました。



新入会の紅松御夫妻

会からのお知らせ

○定例役員会

日時：6月1日(土)14:30～17:00

場所：東村山スポーツセンター

何時もととは場所が異なります、ご注意ください。

一般会員の方も時間の都合のつく方は気楽にご参加ください。

○4月度、関連会合への出席

4月13日(土)15時～19時 日台稲門会定期総会、日台稲門交流の集い
(日本プレスセンタービル) 三宅さん出席

4月21日(日)15時～ 東久留米稲門会年次総会(成美会館)

山下さん、鈴木国夫さん出席

4月25日(木)18時～ 第1回稲門祭実行委員会(小野講堂)

柴田さん、野田さん

○14年度の三多摩稲門連合大会の日程が決まりました。

10月19日(土)13時～の予定、場所：吉祥寺、東急イン

奥島総長のご退任記念講演会を予定しています、スケジュールに入れておいて下さい。

○オール早稲田文化週間協賛展の案内

『ワセダ・アート・ギャラリー三人展』

陶芸家：太田和明氏、画家：足立 徹氏、書家：渡部大語氏

日時：5月13～17日、11時～18時30分

(但し13日は13時～、17日は17時まで)

場所：リーガルホテル東京・早稲田2Fサファイアルーム

○2002年稲門祭実行委員に小亀、柴田、野田の3氏

10月20日(日)に行われる稲門祭(校友会)の実行委員を小亀輝雄さん(S34商)、柴田元さん(S55文)、野田数さん(H9教育)の三人にお願いすることになりました。ご苦労様ですがよろしくお願いいたします。

今年度の招待は昭和28、33、43、53年卒業の校友です。

○オペラ鑑賞会(清瀬稲門会)

5月12日(日)13:30～17:00 清瀬駅北口生涯学習センター7F
ヴェルディ「運命の力」無料(カンパ200円)問い合わせ 0424-91-0572 大畠氏

○山村鉄平さん(H11教育)出演の青年劇場第81回公演ご案内

「愛さずにはいられない」 作・演出 ジェームス三木(20年ぶり再演)

5月17日(金)～23日(木)朝日生命ホール／26日(日)前進座劇場／

27日(月)かめありリリオホール 前売り券 一般4700円

昼の部(18/19/21/23/28)14:00～ 夜の部(17/18/20/21/22/27)18:30～

各種特典のある友の会への入会をおすすめします。

問い合わせ 03-3352-7200 青年劇場まで

同好会だより

俳句同好会 (稲酔会) 世話人 高杉修 391-8447
柴田元 396-8257



(部屋に最優秀句短冊掲示)

4月28日(日) 14:00から「丸藤」にて第2回目の句会が行われました。各自兼題の「陽炎」を含む5句ずつを持ち寄り、合評会の後懇親会に移りました。

清記用紙、選句用紙など使用し、句会らしくなってきました。今回は6月9日(日)。会場は同じく「丸藤」にて14:00からです。

兼題は「涼し」。雑詠も含め5句お寄せ下さい。

どなたでもけっこうです。俳句をお作りでない方も是非ご参加下さい。

出席者(写真左から): 井垣稲雀、八木勝利、三宅良太、菊田一平、大西還児、柴田元、高杉風至

(投句のみ): 塩見之一、小亀輝雄

(柴田 記)

ゴルフ同好会

世話人 井垣和太 TEL 396-3100

○第11回会長杯(4/21)は雨中熱戦を 月森さん(S35法)が制す!



前列左から土橋、高部、野口、大西、水村(ゲスト)。

後列左から井垣、津野、吉田、月森、三宅、当間、鍋島

「よりによって何もこの日に降らなくても」とグチたくなる、土砂降りの日曜日、山梨県都留市のブリティッシュガーデンクラブに集った12名。

幹事の心配をよそに「やめようよ」の声もなく、エンジのレインウェアに身を固めた大先輩の野口さん(S27理工)に続けとばかり、春の雨が降りしきるコースへスタートしていきました。

優勝は久しぶり登場の月森さん(S35法)「最後まで冷静にプレーしたことが何よりの勝因」と優勝の弁。準優勝は肩の痛みが取れて復調の三宅さん(S36商)。三位には最高ハンデを生かした大西さん(S30理工)が入賞。

ブービーは、雨風に弱いところを露呈した井垣さん(S37商)が鍋島さんを1打抑えて受賞。ベストグロスには98の津野さん(S37商)。ドラコンは当間さん(S43法)と鍋島さん(S34商)。ニヤピン賞は力だけではないことを証明した吉田さん(S43理工)が2つ獲得。あとは高部さん(S35理工)と津野さんがひとつずつ。

土橋さん(S35理工)とゲストの水村さんは参加賞だけでお疲れさん。

次回秋の大会幹事は月森さんと井垣さんです。よろしく。

(井垣 記)

麻雀同好会

世話人 小野 智
田口 政澄

TEL 391-9523
395-4077



麻雀同好会のご案内

本年第二回麻雀大会を下記にご案内いたします。表彰式後は懇親会でまた一杯やりながら楽しいひとときを過ごしましょう。

今回も是非最低四卓で賑やかにおこないたいと思います。会員各位の積極的な参加をお願いいたします。また初参加の方お待ちしております、大歓迎です。

記

日時：6月16日（日）12時30分
場所： マージャンM

本町 4-12 アメニティパレス B1

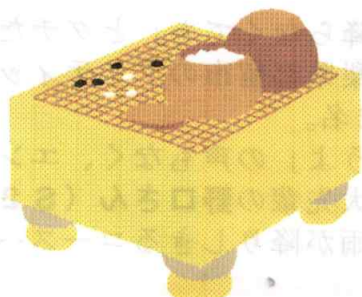
TEL: 397-5228

会 費：6千円（競技代、賞品代懇親会費用すべて含）

囲碁同好会

世話人 野村 保夫
井上 徹

TEL 394-0417
394-8884



6月度 定例会（練習会）のご案内

東村山囲碁同好会は、前途洋々たる若手新人（野田 数氏）を迎え、ますます熱のこもった同好会になっています。初心者も大歓迎！いつでもお気軽に声をおかけください。こんなに素晴らしいたしなみ、私たちだけが楽しむのは、ほんとうにもったいなく思います。

囲碁は一見難しそうですが、実は、ちょっとしたルールさえ知れば、あとはハンディがうまくできているので、みなさん、すぐに楽しめますよ。

さて12名参加の4月度定例会も盛り上がり、みなさん心はすでに8月の大会へ。その前の6月度定例会は、次の日時にて開催いたします。

日時：6月22日（土） 13時～17時 ※日程は、ほぼ決定。

会場：市民センター

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

●なお、第4会大会にて見事優勝されました佐野祐史五級は、内規により

4月度より四級に昇級されました。おめでとうございます。

※追記）その後のご連絡です。次回6月22日（日程決定）は、東久留米稲門会囲碁同好会との親善試合となりました。

景気の動きについて

塩見 之一

リタイヤ組の一員として時間の余裕を生かして新刊の経済解説書を求め、市の図書館で古典とも言える経済書を読み漁り、同好の士との対話を繰返して今後の景気回復の動きがどのような軌跡を描くかを予測することを現在試みている。

第二次大戦後のインフレーションを体験した私は、戦災により食料を始めすべての生活物資の生産手段の大半を失った我国が、通貨と生産物のバランスを崩して物価の高騰を招くインフレーションに突入したことは国土が焦土と瓦礫の山と化した敗戦国の国民の宿命であるとしても、歴史として後世に伝えられる段階で「大変だった。」の一言では済まされない程多数の庶民サイドの餓死・自殺・事故死者などを生んだ。

現在進行中のデフレをインフレと単純に對比しデフレ回避の手段としてインフレの高物価傾向を人為的に操作しようとする考え方が一部に生まれつつあるが、戦後インフレによってより多く苦汁を舐めたのは、国民大多数の庶民であったことを忘れてはならない。この生きた体験から国の指導層に対する国民の

信頼感がインフレやデフレなど国家次元の経済の異常事態の解消に大きな力を持つことを嫌と言う程知らされた。戦後インフレのさなかには「所得倍增論」や「土地神話」が政界およびマスコミによって提唱され、国内生産力の増強にプラス効果を挙げた。これらを当時の政治家の功績とするのは早計であるとす

る反対意見が国民の愛国心が国の復興を早めたとするサイドから強調されたが、いずれにしても老若男女を問わず遮二無二働いて敗戦後約十年で衣食が足りるようになり、その努力の継続によって悲惨な戦後生活を知る者にとつて目を見張るような再建が齎された。

が、しかし経済成長の実態を伴わない過度の金融緩和によるバブル経済の招来は、土地価格を庶民には入手不能なまでに高騰させ、都心の消費生活費は世界で最高額となった。

このバブル経済状態はその後の日銀の突然の金融総量規制による土地価格・株価の急落により劇的に崩壊した。

バブル崩壊後の国内経済は数々の曲折を経て正常化を越えデフレ傾向を示し始めた。

価格が低落する土地・株式を担保とした債権は不良化し実績を伴い、この実損が金融界を直撃し価格破壊による購買力の低下は企業の

生産力の停滞に繋がり就業人口を減少させて国民生活に弊害を生みつつある。

特に国家連帯意識が薄れた昨今では短期間解決の即効薬はなく、当会の「会報」紙面で会友諸氏の意見を求め知人と語り合ったがその結果、数々の感触を得た。デフレ克服については、単に「政界に任せておけば良い・これは財界の仕事だ。」では済まされないものがある。企業についても自社の株価を上げるため従業員の首を切るだけでは購買力の低下を自ら促す原因を作るだけに留まることが明白であり工夫が求められる。

結びの言葉としてこの作業の結果得られた結論のひとつをご披露すれば、『デフレは過去には不可能であった個人やその家族の(夢)を果たす好機を齎らす。』例えば千四百兆円と言われる個人金融資産の長期平均金利(約1.5%)分を(夢)実現のため毎年支出すれば、四年で日本の国家予算と同額の資金が市場を環流しこれが現在頭打ちとなっている過去10年間の消費支出年間平均値約250兆円に加わればデフレはやがて昔語りとなる。『国民が財布の紐を緩める意識改革の実現には「を使っても損は無い」との信頼感を与える以外には考えられない。』

多摩湖ふくろう通信 No 2

2002. 2. 10

戸田 志郎



国立社会保障・人口問題研究所が新しい「将来推計人口」をまとめた。新人口推計は出生率の低迷で少子高齢化が加速し長期的に人口が減る未来像を示した。5年前の前回推計に比べると出生率（合計特殊出生率）が今後相当に落ち込むと予想している。5年前の推計では「2000年の1.38が最低で2025年には1.61まで回復する」としたが、今回は「出生率は2007年に1.31まで下がり以後上昇するものの1.39までしか回復しない」という推計となった。2000年の実績値は1.36であるが、一人の女性が一生のうちに産む子供の数を示す合計特殊出生率は2.08人で

あれば、人口は減りも増えもしないとされる。一年間に生まれる子供の数は、現在の120万人から2050年には67万人になると予測する。人口を維持（1億2千万人、平均寿命80歳）するためには、単純計算で150万人（1億2千万人÷80年＝150万人）必要である。少子化に歯止めをかけるには、一つには女性の就業率を高めることだと言われている。日本の女性は結婚や出産で退職する割合が欧米の女性より高く、働き続ける女性の出生率は極端に低い。出産後の働きやすさと待遇の違いがその要因と見られる。

一方、高齢者の方は、平均寿命が3～4歳上がって男性81歳、女性89歳となるとみており、65歳以上の割合は現在の17.4%から、35.7%になる。日本の平均寿命の急激な上昇と医療の国民皆保険制度（高度成長の初期に成立した）によってもたらされたものと考えられる。65歳以上の人口を、15歳から64歳の生産年齢の人口で割った割合は、現在の26%から67%になり、今は働き手4人で高齢者1人を支えるが、50年後には働き手1.5人で一人を支えることになるという。寺島実郎が『時代の深層底流を読む』の中で発言しているように、高齢者を、「社会的負担」と考えるか「社会的資産」と考えるかによって未来展望はまるで座標転換する。

最後に、「生き生き高齢者」の共通点として、次の三つが観察される。一つは、仲間がある人。二つは、いくつになっても、役割をもてる人あるいは役割をもっている人。三つは、人生に、何らかの基本方針（それがどんなに素朴でも、人生への一つの姿勢、信念、信仰など）を持っている人。これからは人生百年といわれている。「生き生き高齢者」に大いに学び、「社会的資産」と評価されるように、日々精進の意思だけは失いたくない。

テニス同好会

世話人 当間昭治 TEL 391-6023



本格的なテニスシーズンに入り、心地良い風が感じられる時期となりました。

5月の例会は運動公園のコート、午後5時から2時間（後半1時間はナイター）です。希望の時間とはいきませんが、都合のつく方是非ご参加下さい

記

日時 5月18日（土）午後5時～7時

場所 運動公園テニスコート A面

恩多町1-51-1 TEL 394-1955

園芸の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298



平成14年第2回の園芸の会を4月27日都立神代植物公園で開催しました。当日は春の陽ざしに恵まれ恒例のさくら草の鑑賞会を藤澤博恭（29政経）氏のご案内で行いました。藤澤氏も数鉢出展されておりました。今年は春の陽気が早く、花が早く咲き初め出展された名人の方々も苦心された様子でした。華麗に咲き競う花々にしばし見とれその後園内を散策、ポピー、ばたん、つつじ、ふじ、他大温室内の珍しい花植物を観賞して廻りました。

お昼に一同で近くの深大寺手打ちそば屋で和やかにビールで乾杯おそばを賞味して、その後深大寺を参詣帰途に着きました。

参加者：大西、木谷夫妻、柴田、高杉、高柳夫妻、当間彰子、当間夫妻、額田、藤澤、八木夫妻、山下邦康夫人、三宅夫妻の各氏17名。

次回（第3回）は下記のとおり催します。

日時：平成14年5月18日（土）15時～17時

場所：東村山市民スポーツセンター2階スポーツクラブ室

今回は畑野菜作りについて、当間昭治（43法）氏からお話し頂き、その後春撒き草花の苗の交換を予定しています。お手作りの苗がありましたらお持ち下さい。お気軽に参加をお待ち致します。

なお、会員の當摩照夫（45理工）彰子（48教育）夫妻が丹精込めて育てられた沢山の薔薇咲くお庭でちょっとおしゃれなバザーが催されます。

5月11日（土）12（日）10時～15時。

市内多摩湖町2-14-3 TEL 396-3033

郷土史の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298



今年第2回の郷土史の会を下記の通り開催致します。

日時：平成14年6月23日13時30分～16時30分

場所：中央公民館第3集会室

会費：300円

講師：稲葉和也先生（S38年早稲田大学建築学科卒、同大学院博士課程建築史学 専攻、現在：東海大学大学院文学部講師、東京都・東村山市他文化財保護審議会委員）

テーマ：私の辿った建築史ー日本・中国・エジプトー

色々と幅広く興味深いお話をして頂けますので多数ご参加下さい。ご同伴歓迎!!

ウォーキングの会

世話人 町田和夫 TEL 394-2438

10月から走る市内コミュニティバスのコースを歩きます。



ウォーキングを通して、市内・近郊のナイス スポットを探索し、街を再発見しながら、会員相互の親睦を図ることがこの会の目的です。さて、今年の10月から市内をコミュニティバスが走ります。全部で5つのコースがあります。まず最初に運行されるのは、東村山駅～新秋津駅（6.8km、27分、20分間隔、100円）のコースです。このコースと市の北西部を走るコース（東村山駅～久米川辻～諏訪町～西武遊園地駅～東村山浄水場～新青梅街道～市役所～東村山駅、9.8km、40分）の2コースを歩きます。車の交通量が多い所もありますので気をつけて歩きたいと思います。まだ面識のない会員の方々にも、ぜひご参加いただき、ウォーキングを通して会員相互の交流、健康の維持につながれば幸いです。

参加ご希望の方は、当日、下記の場所へ集合願います。

1. 日時 5月19日（日） 10時～15時
2. 集合場所 東村山駅東口交番前 10時
3. 持ち物 お弁当・敷物
4. 当日、小雨の場合は5月26日（日）に延期します。

[コース] 東村山駅東口10時→北西部コース→狭山公園（お弁当11時30分～12時30分）→北西部コース→東村山駅東口→新秋津駅 15時
解散 17km

俳 壇

淡く咲く山の桜の一分二分 柴田 元
 葉桜や楽しき時は早く過ぎぬ
 花の雨「老人力」の本借りぬ
 竹の子の夢ロケットになりて飛ぶ
 新しき力士の木札緑立つ
 かげろふや草の飾りを編む母子
 櫓の音も微かに春の渡し舟
 対岸の球春乗せて渡舟着く
 てらてらと主亡き庭の柿若葉
 八木 勝利
 孫に手を借りて立てたり鯉のぼり
 末広に波後退るマガモかな
 みどり葉を摘む手に薫る山椒かな
 塩見 之一
 時ならぬブルグル姿春埃
 早咲きの桜を追いてみちのく路
 見かけよりひ弱な証し春の風邪
 菊田 一平
 彼岸会や水を漂ふ鳥の羽根
 大鍋の噴きこぼれては春の雲
 菜籠の昼を明るき山の雨
 大西 還児
 かたくりの傍に土筆も顔を出し
 こもれ日を浴びてよりそう二輪草
 濡れそぼちひとりしずかの花淋し
 三宅 良太
 はらはらと花散る庭に孫遊ぶ
 青春や陽炎めざしひたはしる
 新緑の幹黒々と濡れりたり
 小亀 輝雄
 眼帯をはづせば眩し春の空
 日の沈む諏訪湖へ桜散りにけり
 諏訪の春杯持ちて蔵めぐり

稲門会花見報告

—お花見24時間—

野田 数

4月6日(土)〈花見前日〉

【16:30】稲門会役員会終了。明日のことを考えて、みなさま大人しく帰るとのこと。しかし某先輩が「ちょっと丸藤へ、1時間程度で切り上げよう。」結局9時過ぎまで飲んでしまった。

4月7日(日)〈花見当日〉

【7:00】起床。雨で地面は湿っていた。肌寒い。

【8:15】「花見は中止か」と思っていたところK先輩から電話がかかってきた。

「本日は決行である。」9時半に秋津駅で待ち合わせる。

【9:20】秋津駅に一足先に到着する。寒いのでカイロを購入しようと歩き回るが、この時期どの店も置いていない。何もないよりましだと思い、筋肉痛・腰痛用の「直貼りカイロ」を買う。

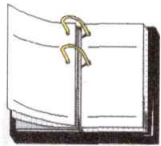
【10:00】電車の乗り継ぎがうまくいき、無事目標時間に現地到着。ほぼ葉桜である。先輩方の判断により、チューリップとスイセンの花壇の前にビニールシートを敷く。

【11:00】宴会開始。当初人数は20名ほど。天気は晴れだし、肌寒さは暑さ変わった(日焼けした)。皆さん酒をよく飲まれた。われわれが歌を歌いだすと周囲の注目を浴びた。丸藤さん差し入れありがとうございました。

【15:30】花見お開き。結局、延べ30名以上が参加した。最初は人が集まるか不安だったが、大盛況であった。最後に都の西北で締めくくった。

【17:00】久米川駅前の丸藤にて二次会。24時間ぶりである。述べ8名参加。

(少数精鋭であると信じた。) 皆さんカラオケに熱が入る。疲れた様子を見せない(疲れていない)のはさすが早稲田マンである。私は最年少の28歳だが不覚にも疲れてしまった。来年は頑張ります。



今月の予定

11日(土) 役員会
第21回雑学講座
18日(土) 園芸の会
テニス同好会
19日(日) ウオーキングの会

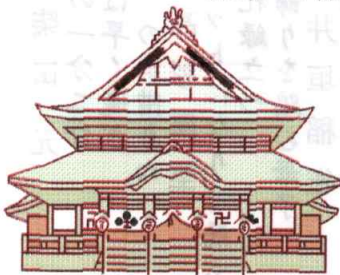
新報

編集局だより

編集局：井垣、伊藤、塩見、田口

東村山稲門会：<http://www.din.or.jp/~tigers/>

東村山稲門会ニュース：<http://members.jcom.home.ne.jp/toumonkai>



○世に記事の集まらない会報誌はゴマンと有る。実を言うところの間までこの稲門会ニュースもそうであった。皆さんの同好会での活発な活動と、意欲あるご寄稿で編集局は嬉しい悲鳴をあげている。今回は異例の10ページだて。そこでお願いは投稿の1回分の字数はA4半ページ分をお願いします。但し分載は可ですので、長文のご寄稿も受けます。

○今年秩父の札所は午年の総開帳。15年前に廻り掛けの御朱印帳をもって行ってきました。新緑の中往き合う人々と挨拶を交わしながら爽快な一日でした。目的の一つは増上寺の石灯籠探し。市内、所沢周辺で120ばかり見つけましたがまだまだ。見つけたら教えてください。(伊藤)

○お花見会が予想を覆して、大勢の会員の参加で盛況を極めて良かったですねー。チューリップと水仙の観賞飲み会なんて、稲門会ならではの趣向ですよ。かく言う私は、お花見会だけは縁がなく参加実績ゼロ。来年は絶対出るぞ！

○丸藤店主の近藤さんの話によれば、堤防の上から探したら3組だけ団体がいて、小さなWの旗で当会の団体を見つけたそうです。差し入れの煮物おいしかったことでしょう。近藤さん有り難うございました。

○ニュースの記事が満載の場合でも、別刷り(モノクロ)で同封の手段がありますので、是非とも会員の皆さんに広めたい事柄や、作品、ご意見などありましたら、編集局までご相談下さい。A4判三つ折りサイズが最適です。発行数は220部です。

○校友の数が47万人。住所判明者は36万人。年間5000円の校友会費を払っている人は24%の11万3千人足らず。(東洋経済4/23日号早大特集より)

125周年事業をやり遂げるのは大変だなーと感じています。(井垣)

○次号の原稿の締切は5月25日(土)とさせていただきます。

会員情報をお寄せ下さい

皆様の身近な情報をお寄せ下さい。還暦・喜寿・古希・傘寿・米寿・白寿・受験合格から神頼みの一言まで(そう言えば神主さんも居ます)写真もOK。

E-mail: toumonkai@jcom.home.ne.jp まで添付ファイルはMS-WORD、一太郎のみ。

勿論テキストファイルはすべてOKです。

FAX: 042-398-1352

郵送: 東村山市富士見町1-12-2 ヴィラージュ・ヴェール1-209 伊藤宛